

オオセンチコガネ

コウチュウ目コガネムシ科

Ceotrupes auratus auratus Motschulsky

石川県カテゴリー 準絶滅危惧

国カテゴリー なし

選定理由

県内では分布地が一地域に限定され、個体数も少ない。採集圧によると思われる個体数の減少が認められる。

形態

体長は16~22mm。体形はタマゴ型でガッチリし、強い金属光沢を持つ。本種は分布域による色彩変異が顕著で、瑠璃、緑、青、赤とさまざまな色彩変異が認められている。本県産は赤色系で、金赤色~濃赤色の美しい金属光沢を持つのが特徴である。

国内分布

北海道、本州、四国、九州、対馬、屋久島。

県内分布

津幡町、宝達志水町、羽咋市、中能登町（旧鹿島町）。三国山~宝達山~碁石ヶ峰にいたる山塊に分布する。

生態

成、幼虫とも食糞性である。成虫は4月下旬から11月中旬まで見られ、獣糞や人糞に集まる。本種はニホンジカの分布と重なることが多いが、県内の生息地にシカは生息していない。

生息地の条件

エサとなる動物の糞の確保が重要であり、動物が住めるような自然環境を保つことが重要である。

生存の危機

エサとなる糞が多いとは思えない地域に分布しているためか、他県と比べて個体数は少なく、今後の個体数の維持が危惧される。本種の生息地は平坦な開けた尾根沿いに多いので、土地造成が進行している所がある。また、放牧場の縮小や廃止も気がかりであり、採集圧も問題である。(A)

特記事項

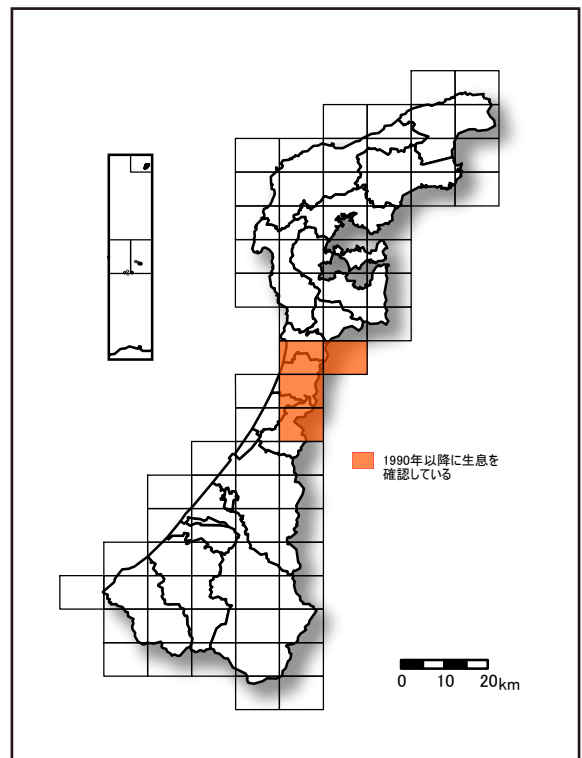
屋久島には、別亜種のヤクシマルリセンチコガネが分布する。

参考文献

高羽正治 1998. コウチュウ目コガネムシ科. 石川県の昆虫 : 147-152. 石川県自然保護課.
富沢 章 2001. オオセンチコガネの採集記録. 翔, (151) : 2.



写真提供者: 富沢章



県内の分布